

『沖縄県 NPO プラザ』

# バナナ通信

発行日：2005年7月13日  
発行：沖縄県NPOプラザ  
〒900-0034  
沖縄県那覇市東町1-1  
県那覇東町会館3階  
TEL：098-941-3113  
FAX：098-941-3114  
E-mail：npo-plaza@  
tontonme.ne.jp

## 沖縄県内のNPO法人数

# 177法人

★4月～6月に認証されたNPO法人★

- ・かなさの会(伊是名村)
- ・ジャパン沖縄ジュニアポリスクール(那覇市)
- ・西表国立公園を守り育てる会(竹富町)
- ・エイフルサポートつばさ(那覇市)
- ・地域活性化フロンティアオフィススーパー  
フライン(平良市)
- ・沖縄鍾乳洞協会(東風平町)

## 今月号の紙面から

### 2面・3面：すぐ活用できる情報発信。

県内支援機関では、各団体PRに活用できる様々なプログラムがあり、それをご紹介します。また、気軽に・簡単にできるHP!「ブログ」。ブログで活動をPRしているNPOを取材してきました。

### 4面：沖縄県のNPO担当課の名称変更

新年度に伴い、NPO担当が「県民生活課」に変更。今後の展開について、県担当者に聞きました。

## .....プラザからのお知らせ.....

☆プラザ開館時間に変更になりました。

AM9：00～PM6：00（昨年度 AM9：00～PM7：00）

☆第1回提案公募事業先が決まりました！！

- ①沖縄県ダイビング安全対策協議会・・・県内各離島におけるダイビング事業所の危機管理向上のための各種トレーニング及びワークショップの開催
- ②ボランティア介護相談員の会・・・ボランティア介護相談員派遣事業
- ③消費者センター沖縄・・・「出前相談 出前講座」 地域で相談、地域で解決  
26件の応募があり、2次審査を経て決まりました。来月号で、詳しくお届けします。

☆プラザのスタッフ紹介

- アドバイザー：一柳さんからバトンタッチをして、今月からプラザの運営を担当します。  
安次富 日奈子 相談に加え、得意な分野（広報）で、力を発揮できるようがんばります。
- 事務サポート：県非常勤下地に引き継ぎプラザを担当させて頂くことになりました。安次富さん  
呉我 春海（かずみ）の足を引っ張らないように努めていきます。どうぞよろしくお願ひします。

———— 6月まで担当して下さった一柳さんからのメッセージ ————

プラザで企画運営、また相談への対応をしていた一柳です。講座やシンポジウムを開く時には周りの人の力でなんとかでき、そしてご相談をいただいてそれにお答えすることで勉強になり、助けられながらの1年2か月でした。いろいろやり残したことや不安なこともあります。みなさま、今後ともプラザをよろしくお願ひします。

## 「情報発信」あなたの団体はどうしてますか？

良い活動をしていても、それが誰にも知られていなくては意味がありません。NPOの場合、実際の活動ばかりでなく、団体の理念や目的、目標もあわせて伝える必要があります。「情報発信が大切といっても、やり方が分からない」と思われるかもしれません。そんな方のために、簡単に始められる情報発信を選んでみました。

### ■カンタン情報発信！

#### ・県内 NPO 支援機関をかしこく使おう

各機関が提供している情報発信の支援をかしこく使えば、単に置く「チラシやパンフレット」を、もっと有効に活用できます。

まずは、那覇市 NPO 活動支援センター（なはセン）が提供する「なはセンふぁいる」。このファイルは、『育てるファイル！？』。従来のように、機関の担当者に、チラシを綴ってもらわなくて、自分たちで綴じ込み、各団体が、見せたい、知らせたい情報を前面に出してPRすることができる仕組みです。

「(活動されている団体が)たくさんの人に認知してもらい地域社会とより深い連携を持ってほしいと思い、なはセンふぁいるを始めました。現在は8団体ですが、今年度中に100団体に増やしたいです。各団体に愛着を持ってファイルを育てていって欲しいですね(なはセン：山崎さん)」。

ファイルという形は、置いて全部なくなったら終わりではなく、より多くの人が見ることができます。また、前に発行したチラシを後から見ることもできます。そう、インターネットと違って紙を綴じるファイルならば、ファイルの厚みがそのまま活動の歴史になります。まさに「育った」実感が湧いてきますね。

もうひとつは、沖縄県ボランティア・市民活動支援センター（県ボラセン）が提供する「団体情報PR支援」。そもそもPRとは「Public Relation」の略で、双方向の関係をつくるという意味です。県ボラセンでは、「PRしたい！」と申し込んだ団体の専用Boxをつくり、そこに団体から寄せられる情報誌やちらし、事業計画や報告書などをどんどんためて、「情報コーナー」で開架して情報公開を支援します。また、只今準備中のボラセンHPでは、団体紹介や催事告知や人材募集の発信もできます。

「団体の情報発信とともに、市民が情報を得やすい環境をつくります。8月1日から市民に提供開始です！それまでにぜひ申し込んでください(県ボラセン：西さん)」。さらに、この支援の特徴は情報発信に留まりません。「情報を発信するだけでなく、情報の入手にも活用できます。登録団体には、県ボラセンより助成金やより良く活動するための講座情報、県ボラセンの情報誌「chu」などが送られます(同)」。

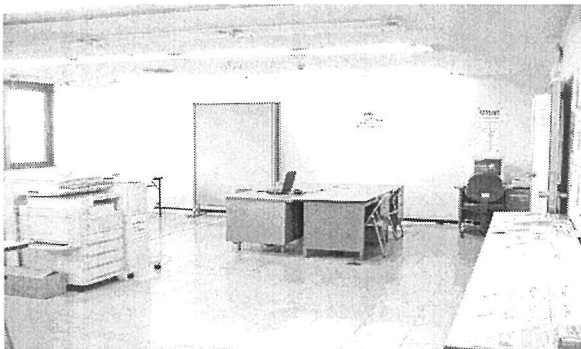
団体にとって有益な情報をいかに集めるかも大切なこと。座っていても情報は集まってきませんから。

プラザでも、各団体から頂いたチラシやパンフレットを全てファイルに綴じ込んで保存し、いつでも誰でも見られるように、各団体ファイルを置いています。ぜひ各NPO支援機関の提供する情報発信の支援を活用して下さい。



## 【今年度、フラザが少し変わりました～】

### ☆模様替えをし、明るい空間になりました。(以下をご覧ください。)



作業場を広く設け、作業用パソコンを2台設置しております。設置パソコンでネットも出来る他、個人パソコンでもネットが使えるようにしました。

また作業場の隣をパーテーションで区切ると会議場となりますので、どなた(どの法人)でも、話し合いや会議等でお気軽にご利用下さい。

## ・『ブログ』で気軽にHP、気軽に発信！

少しでもインターネットを使ったことがある人なら、インターネットを使えばより多くの人に情報を伝えることができるのが分かります。でもウェブページ(ホームページ)を開設するの「知識と手間」、さらに、更新して行くのは実に面倒くさい。放置されたウェブページは活動が停滞していると思われて、団体の信頼を失うことにもつながりそうだし。そんな思いをしている方もおおいはず。

そこでお奨めしたいのが、「ブログ」です。ブログはウェブページの種類ですが、記録を残したり、それを系統的に整理するのに便利です。最近ではよく個人の日記をネット上に掲載するのに使われていますが、NPOの情報発信でもとても便利で効果的です。簡単な作業で「開設・更新」可能で、更には、活動内容やお知らせを日付順やテーマごとに整理して伝えられます。もちろん写真や画像も掲載でき、そのまま記録として残すことができます。まさにNPOの情報発信にうってつけだと思いませんか？ さらに嬉しいことに、無料で開設できるブログもたくさんあります。

実際にブログを使って情報発信をしているNPO、「工房396」に聞きました。

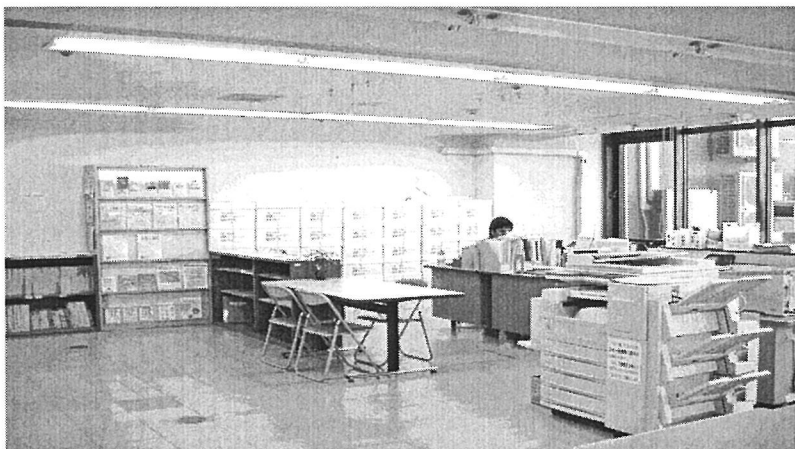
「私たちは『み～きゆるきゆる』というまちの情報を伝える地域情報誌を作っていますが、今までに関わった、あるいは関わっている地域の情報や見つけたものをブログから発信しています。簡単にそして関わっているメンバー誰でもが情報発信できる点が良いですね。ブログを見た地域の方からコメントが寄せられたり、トラックバック(ブログ間の連携機能)されたりと、情報誌制作後も地域とのつながりが生まれるのがとても面白いです。(工房396スタッフ：宮道さん) 百聞は一見にしかず。ブログのことが分からない人も、ぜひ一度「み～きゆるきゆる」のブログを見て雰囲気をつかんでみてください。アドレスは、<http://studio396.ti-da.net/>。

### ■情報発信はこんなに大切

数多くのNPOが活動する今日、NPOプラザにもさまざまな問い合わせが寄せられます。「NPOにお願いしたいことがあるので紹介を」という電話もよくありますが、実はプラザで紹介できる団体は、プラザにチラシやパンフレットがある団体に限られてきます。チラシやパンフレットが無いと、具体的な情報を伝えることができないからです。(プラザも「ブログ」でのHP。近日公開予定です。)

また、ある時こんなことがありました。「NPOに寄付をしたい」という方がプラザに来られたので、プラザに置いてある各NPOのパンフレットをお渡ししました。後で聞いたのですが、その方は貰ったパンフレット中から1つのNPOを選んで寄付されたそうです。多くの人々から寄付が集まるということは、それだけ多くの人々から信頼を得ているということ。寄付はNPOの信頼度を示すバロメーターです。多くの人々から寄付を集めるためにも、積極的な情報発信が大切です。

こうしてみると、案外簡単に、しかも効果的な情報発信ができると思いませんか？ もちろん情報発信はこれだけしておけば良いというものではなくて、さまざまな形があります、ぜひ、オリジナリティあふれた情報発信を探してみてください。(一柳亮太)



入り口正面にスタッフがおり、いつでも相談  
 対応致します。どうぞお気軽に声を  
 おかけ下さい。(事前に電話頂くとうれ  
 しいです。)

また、入り口を入りますと各機関  
 誌・情報誌等も揃えております。各団  
 体ファイルも作っておりますので、い  
 ろんな団体情報をお待ちしています。

(モデル：呉我さん)

## 市民活動推進班に聞きました

平成17年度より、県庁のNPO担当課が変更になり、その体制にも変更があったようです。今回は、NPOプラザ担当の又吉朋隆さんにインタビューしました。

### ○組織改編に係る変更について

☆平成17年度の組織改編により課の名称が生活企画・交通安全課から県民生活課に変更になりました。また、本庁組織のフラット化により係体制から班体制に移行しました。市民活動推進班は、市民活動に関することはもちろんのこと、市民活動以外の担当業務も多く、県庁の総合案内や県民からの窓口相談業務、災害救助法等の災害支援に関する業務、消費生活協同組合の指導・監督、省資源・省エネルギーに関する啓発業務、そして、あまりなじみのない事業で環境不良地区における道路や下水排水路の設置を行う地方改善施設整備事業という業務を担当しています。

### ○班にはどのような方がいるのでしょうか？

☆市民活動推進班は、5名の職員が配置されています。班長の新垣秀彦は、市民活動に関する施策の総合的企画、調整、推進やNPO活動促進の基本指針を担当しています。佐久田由紀子はNPO法人の定款変更や指導監督、NPO活動の広報啓発を担当しています。4月に新たに赴任した篠田卓也は、NPO法人の設立認証相談を担当、同じく横山貴彦は平成17年度の新規事業の提案公募型事業を担当します。私、又吉朋隆は、沖縄県NPOプラザの運営を担当することになりました。

### ○NPO関連では今年度どのような事業があるのでしょうか？

☆NPO法人の認証や指導監督などのルーチン業務以外には、沖縄県NPOプラザでNPOの支援を引き続き実施するとともに、頑張っているNPOを支援するため、県民への広報啓発を行う予定です。また、今年度の目玉として新規事業の提案公募型事業があります。この事業は、NPOとの協働を推進するための事業で、予め定めたテーマを実現するための事業企画をNPOに提案してもらう事業です。1事業100万円を限度に総額300万円を事業委託します。(1面に、今年度の助成先記載)

### ○今後、沖縄県と市民活動団体の協働のあり方はどうなのでしょう？

☆NPO法(特定非営利活動促進法)が平成10年に施行されてから、本県のNPO法人の数は、今年の6月末で177となり。今後は、これらNPO法人が裾野となり、本県の市民活動を活発にしていけることを期待しています。そのためにもNPO法人をはじめとする市民活動団体の支援が大きな課題です。その課題解決のために県をはじめとする行政との協働は不可欠なものであり、提案公募型事業もその一つです。

また、多くの分野で活躍するNPOとその分野を担当する行政職員が同じ目的をもって協働することが、より効果的な施策であると思います。行政職員がNPOと協働について正しい理解と共通認識をもつことが重要です。その実現のために、県をはじめとする行政職員に対する講演会や県民に対する出前講座の実施などNPOを知る多くの機会をつくっていきたくと考えています。

インタビュワー：一柳亮太

## ..... 沖縄県NPOプラザ .....

開館：月～金曜日 9時～18時 (土日祝お休み)

### ◆沖縄県NPOプラザではこんなことをしています。

- ①NPO活動のサポート・相談
- ②NPOの活動・交流の拠点づくり
- ③NPOに関する情報の収集・提供

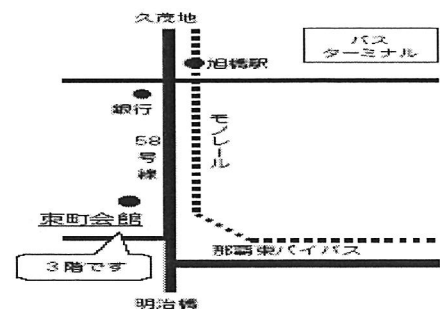
### ◆お問い合わせ

〒900-0034

沖縄県那覇市東町1-1 県那覇東町会館3階

TEL: 098-941-3113 FAX: 098-941-3114

E-mail: npo-plaza@tontonme.ne.jp



.....